

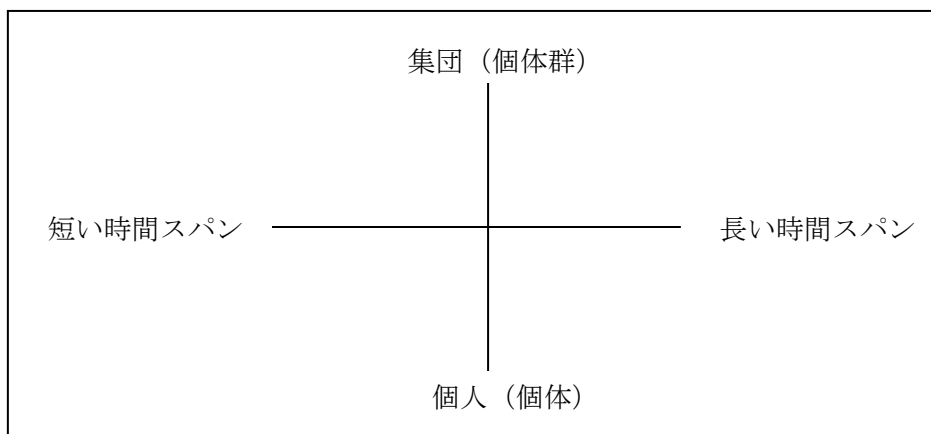
0. 授業構成の説明

1. 概念

設問1： 人口問題とは何か？なぜ「問題」か？

設問2：人口の「問題」を、経済的問題、社会的問題、健康科学的問題に分類・整理してみよう。

設問3. 個人（個体）の研究と集団（個体群）の研究



設問4. 人口学者の存在する学問分野には何があると思うか。

研究タイトルの例

<日本社会> 日本の将来人口予測／日本の出生力の将来予測／日本の2025年の労働人口予測／日本における少子化の背景について／労働人口減少が経済活動に与える影響／健康（QOLを考慮した）平均余命の計算方法／地域内人口移動と地域内の出生力変動

<生態学> 婚姻行動と遺伝構造、ヘテロな環境に対応した再生産戦略、人口増加が環境利用・食料生産・健康に与える影響、人口支持力

<国際保健> 子どもの乳児死亡率に影響する要因、避妊の受容にかかわる要因、高い出生率の要因

2. 人口統計の基本的な考え方

設問5. 未知の領域を統治することになった支配者はどのような目的と方法で人口調査をおこなうか。

人口静態統計（国勢調査）

総務省統計局 <http://www.stat.go.jp/data/kokusei/>

1920年に第1回、その後5年ごと実施。調査年の10月1日午前0時における「常住しているもの」についての情報を集める。「常住しているもの」とは、当該住居に3ヶ月以上にわたって住んでいるか、住むことになっているもの。

= *de jure* population (⇔ *de facto* population)

人口動態統計（人口動態統計、人口移動統計）

人口動態統計：戸籍法によって市区町村長に届けられる出生・死亡・婚姻・離婚・死産の届け出に基づいて、市区町村長が作成する人口動態調査票によるもの。年報は、1月1日から12月31日までの届け出を集計したもの。

厚生労働省 <http://www.dbtk.mhlw.go.jp/toukei/index.html>

人口移動統計：住民基本台帳に記載された事項のうち、転入者の従前の住所地の男女別数を各月別にとりまとめたもの。

総務省 <http://www.stat.go.jp/data/idou/3.htm>

地域レベルの統計

東京都 http://www.fukushihoken.metro.tokyo.jp/kikaku/toukei/toukei.html#label_a

京都府 <http://www.pref.kyoto.jp/tokei/s1000.htm>

青森県 <http://www.pref.aomori.jp/tokei/omona.html>

過去5年間の出生と死亡についての調査（人口統計の不十分な途上国を対象）

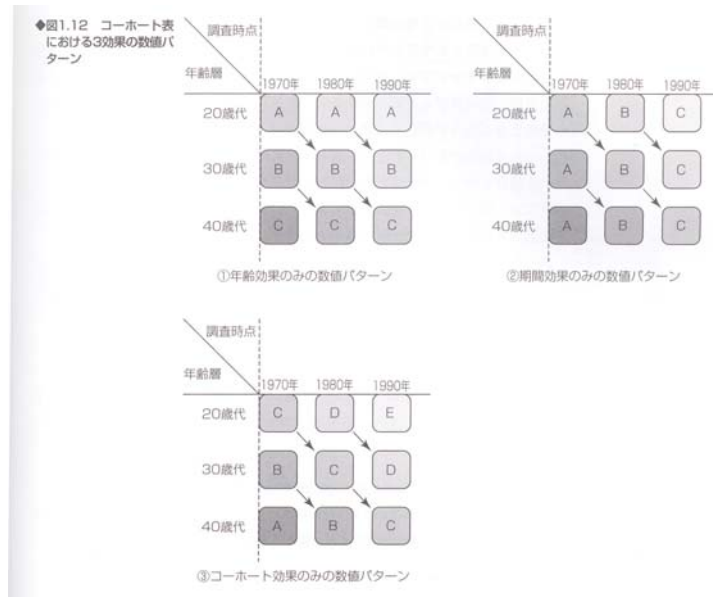
Demographic and Health Survey <http://www.measuredhs.com/>

(e.g., Andoh et al., (in press) ASSOCIATION OF HOUSEHOLD DEMOGRAPHIC VARIABLES WITH CHILD MORTALITY IN CÔTE D'IVOIRE. Journal of biosocial Science.)

3. コホートモデルとピリオドモデル

コホート：(例) 1975 年出生コホート、2005 年結婚コホートなど
 ピリオド：(例) 2000 年、2000～2004 年

世代生命表 ⇔ 平均余命
 完結出生力 ⇔ 合計出生率



(出典：和田,2006「EXCEL で学ぶ人口統計学」)

4. 人口増加の分析

人口方程式：人口の変動＝自然増加＋社会増加

設問 6. 2004 年 1 月 1 日の東京都の人口から 2005 年 1 月 1 日の東京の人口にかけての人口増加はどのような要因でおこったか。

東京都の人口 <http://www.toukei.metro.tokyo.jp/jsuikei/js-index.htm>

東京都の転入転出・出生死亡（人口のうごき 第1表）

<http://www.toukei.metro.tokyo.jp/jugoki/ju-index.htm>

設問 7. 大正 9 年から平成 12 年にかけての日本国人口の平均人口増加率を計算せよ。（配付資料を参照） データ：総務省統計局 <http://www.stat.go.jp/data/kokusei/>

設問 8. 大正 9 年から平成 12 年にかけての日本国人口にかんする時系列データに、直線あるいは曲線のあてはめをおこないなさい。（配付資料を参照）

5. 人口構造の分析

性、年齢、配偶関係、国籍、教育程度、労働力状態、就業上の地位

設問 9. 1900 年から現在までの出生性比、人口性比の時系列変化をグラフにしてください。

1 B 上巻出生 第 4. 1 表__ 年次別にみた出生数・率（人口千対）・出生性比及び合計特殊出生率

http://www.dbtk.mhlw.go.jp/toukei/data/010/2004/toukeihyou/0004982/t0108961/MB010000_001.html

国勢調査 第 2 表 年齢（5 歳階級），男女別人口及び人口性比 — 全国（大正 9 年～平成 12 年）

<http://www.stat.go.jp/data/kokusei/2000/kako/danjo/zuhyou/da02.xls>

設問 10. 人口構造について、1900 年から現在までの時系列変化を検討してください。とくに、年少人口指数（15 歳未満の人口割合）、老年人口指数（65 歳以上の人口割合）、生産年齢指数（15-64 歳の人口割合）の変化を検討して、それが日本社会に与えた影響を考察してください。

国勢調査 第 2 表 年齢（5 歳階級），男女別人口及び人口性比 — 全国（大正 9 年～平成 12 年）

<http://www.stat.go.jp/data/kokusei/2000/kako/danjo/zuhyou/da02.xls>